

Aesculap[®] CeSpace[®] Titanium

Anterior Cervical Interbody Fusion System



Spine



Stability

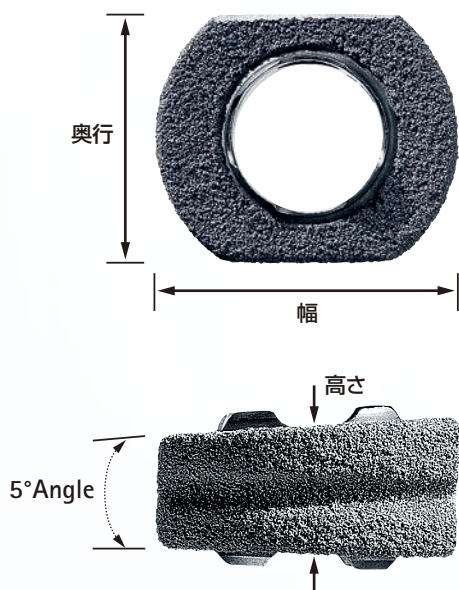
Primary & Long term



CeSpace[®] Titanium

インプラント & インストゥルメント一覧

Implant



- 高さは4mm～7mm。狭小化した椎間へも対応可能なサイズバリエーション。
- 患者の終板サイズに応じて、幅は14mmと16mmの2種類から選択可能。

品番	幅(mm)	高さ(mm)	奥行(mm)	角度(°)
FJ134T	14	4	11.5	5
FJ135T	14	5	11.5	5
FJ136T	14	6	11.5	5
FJ137T	14	7	11.5	5
FJ144T	16	4	13.5	5
FJ145T	16	5	13.5	5
FJ146T	16	6	13.5	5
FJ147T	16	7	13.5	5

※高さはインプラント中心部で計測しています。
すべてのCeSpaceインプラントは滅菌パック入りです。

Instrument



ストッパー機能付きインサーター

- シンプルな器械構成。
- 着脱可能なストッパースリーブ付きインサーター。

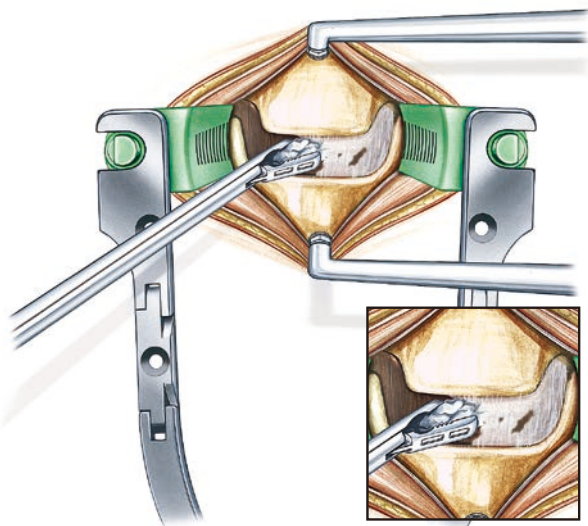
トライアル

品番	サイズ	ハンドルカラー	本数
FJ164R	14 × 4mm, 5°	ブルー	1
FJ165R	14 × 5mm, 5°		1
FJ166R	14 × 6mm, 5°		1
FJ167R	14 × 7mm, 5°		1
FJ174R	16 × 4mm, 5°	グリーン	1
FJ175R	16 × 5mm, 5°		1
FJ176R	16 × 6mm, 5°		1
FJ177R	16 × 7mm, 5°		1

品番	製品名
FJ100R	インサーター

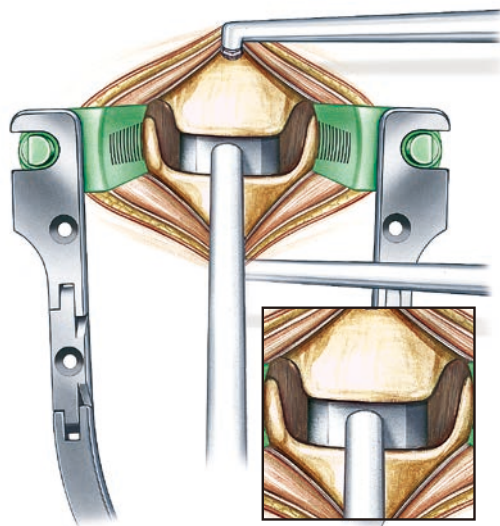
OPERATING TECHNIQUE

手術手技



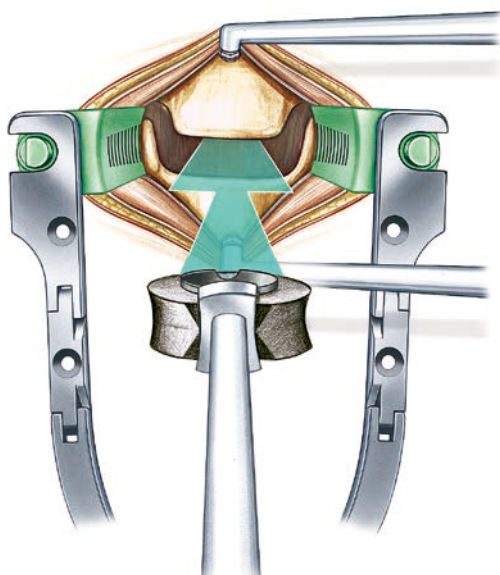
1 展開／除圧

患者の体位、アプローチ、ディストラクション、除圧は一般的な手法に従っていきます。



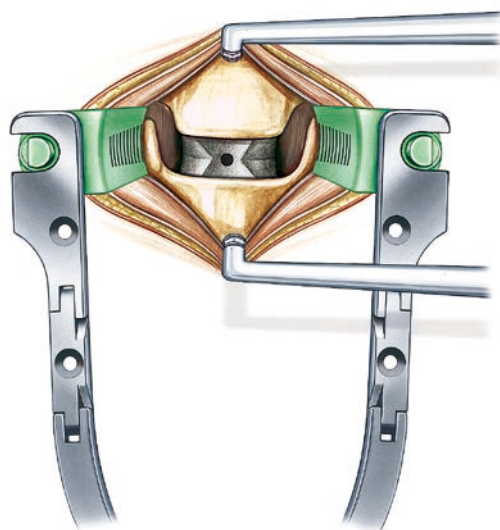
2 インプラントサイズの選択

トライアルインプラントを使用し、最適なインプラントサイズを決定します。トライアルは、フィクセーションクラウンを含んだ高さになっています。



3 インプラントの挿入

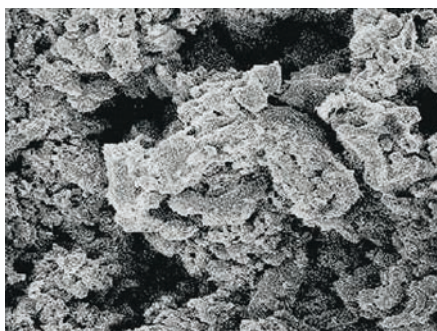
インプラントとインサーター接続部にはねじ切りが施してあり、インプラントを安全且つ強固に把持できます。インサーターには着脱可能なストッパーが付いており、インプラントを深く挿入し過ぎることを予防します。インプラントからストッパーまでの距離は2mmです。挿入時にはインプラントの頭尾側の向きに注意してください。(傾斜がついている面が頭側です。)



4 最終確認

イメージ下で最終的な確認を行いながら、インプラントを最適な位置(椎体前縁から1~2mm)に設置します。

Plasmapore® coating



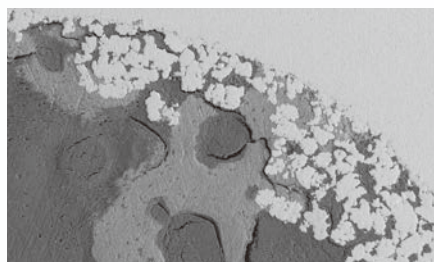
▲Plasmaporeコーティング表面の拡大写真

微細多孔性の純チタンPlasmaporeコーティングは、Aesculap社が1986年より採用し、臨床使用されている特殊表面コーティングです。Plasmaporeコーティングには減圧プラズマ溶射法(VPSコーティング: Vacuum Plasma Spray)が採用されており、この技術により気孔率を平均37.3%、気孔サイズを50 μ m~200 μ mに制御することを可能にしました。この気孔は連通性を持つため、骨とコーティングの強固な結合が期待できます。また、この孔の深さ、粗さ、気孔率のバランスによって、**骨の新生**を強力にサポートします。さらに、コーティング表面の粗さは**初期固定力**を高めるとともに、表面積の拡大によるインプラントへの応力分散に寄与します。

No graft bone



▲コーティングの吹き付け工程



▲コーティング内への骨新生断面写真

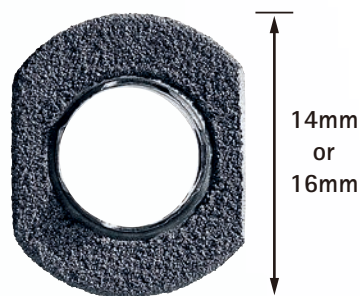
表面に施されたPlasmaporeコーティングによって、骨新生が促されます。それにより、充填骨を入れる必要がなく、手技が簡便となり手術時間の短縮が図れます。また、感染リスクの軽減も期待できます。(*症例に応じて、骨移植を加えることも可能です。)

Fixation crown



中心円上には、頭尾側合わせて8箇所「フィクションクラウン」が備わっており、これらが椎体終板に噛み込むことで、椎体間でのスペーサーの変位を抑制します。それぞれのクラウンが違う方向を向いていることで、**より高い初期固定力**を誇ります。

Maximum contact zone



椎体終板の形状を参考に、インプラントと終板骨端輪部分との接触面積ができる限り大きくなるように設計されました。また、インプラントには2種類の幅(14mm、16mm)を用意することで、確実に同部位に設置できるサイズを選択することが可能です。これにより、スペーサーの沈み込みの危険性を低減します。加えて、Plasmaporeコーティングにより表面積が約16倍*となることで、コンタクトエリアが増大し、更なる安定化に寄与します。

*当社調べ

AESFULAP[®] - a B. Braun brand

製造販売元 **ビー・ブラウンエースクラップ株式会社**

本 社: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16
カスタマーサービスセンター: ☎ 0120-161-743(フリーダイヤル)

Homepage: www.bbraun.jp

本カタログ掲載品の仕様・形状は、改良等の理由により予告なしに変更することがあります。
本カタログ掲載の製品毎の薬事取得番号及び販売名は、製品付属の添付文書をご参照ください。

販売名:	承認番号:
Ceスペース	22100BZX00191000
Ceスペース用手術器械	13B1X00218258061